

そよかせ

通信



2020年7月 No. 5

発行責任者

北本市議会議員 **金森すみ子**

連絡先 金森すみ子とあゆむ会

北本市東間 8-230-172

電話 048-542-8794

今年の梅雨は本格的です。お日様が恋しい日が続いています。緊急事態宣言が解除されて、2か月程になり、人の動きも出てきて嬉しくもありますが、私たちは相変わらず3密には気を配りながら過ごさなければなりません。お友達とたくさんおしゃべりをしたいけど、もう少し辛抱でしょうか。九州を初めとする豪雨に見舞われた地域では、更なる試練で苦労されています。大変心が痛みます。北本市は、比較的自然災害に強い地域ですが、あまり油断せず、もしもの時に備えていきましょう。

令和2年第1回北本市議会臨時会 (5/19) が開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止へ向けて、市は、いくつもの対策を打ち出しました。よって、議会は、緊急な事態であるとして臨時会を開き、審議にあたりました。市長提出議案は、条例制定1件、条例改正6件、補正予算3件、人事案1件でした。また、議員からの提出議案が3件ありました。審議の結果、全て承認・可決されました。

令和2年第2回北本市議会定例会 (6/9～6/26) が開催されました。

市長提出議案は、条例改正5件、補正予算5件、人事案など17件でした。審議の結果、全て承認・可決されました。

令和2年度一般会計予算は、総額277億5,154万円に！

令和2年3月議会で決まった、当初予算204億3900万円に対し、**73億1,254万円の増！**となりました。主な理由は、**新型コロナウイルス感染拡大防止のために、自粛生活を余儀なくされ打撃を受けた、市民の生活及び経済活動への支援**です。

＜ 歳 入 ＞

国からの補助金(約69億1,100円)と、市の財政調整基金(自治体が計画的な財政運営を行うための貯金)からの繰り入れ(約4億100万円)で賄っています。財政調整基金からの繰入金は、後に、国からの臨時交付金等となってほぼ戻る予定とのこと。大変大きな額ですので、気を付けて見ていきます。

＜ 歳 出 ＞

※市長・副市長・教育長の6～11月の給与が減額されます (218万5千円の削減)

- ・ 市長(-20%=-108万円)、副市長(-15%=-68.5万円)、教育長(-10%=-42.1万円)

※議員の6～11月の報酬・賞与、議会運営経費等が減額されます ←

- ・ 議員の報酬と賞与 (-10% = -626.2万円)
- ・ 議会運営経費等 (-523.3万円)

(1,149万5千円の削減) ←

今年度は、行政視察研修を取り止め、政務活動費を半額返還します。 ←

※特別定額給付金 (66億7,340万円 ← 国から補助) ←

5月より、市民1人に10万円の支給をしています。マイナンバーによる申請では、暗証番号の問い合わせ等で、市役所窓口が混雑してしまいました。更に、オンライン申請の不備や重複の確認は、人力で行わねばならず、反って担当部署は苦勞したようです。この事務手続きを、外部へ委託している自治体もありましたが、北本市では、担当職員と応援職員の連日の頑張りでも乗り切りました。結果、近隣市町村の中でも、素早い市民への給付につながりました。また、DV被害等で避難していても、給付金が受け取れるよう配慮されているとのこと。申請は8/19までになります。 ←

※子育て世帯への臨時特別給付金 (7552万円 ← 国から補助) ←

児童手当の受給者に、児童一人につき1万円の給付。 ←

※子育て支援臨時給付金 (1,134万円 ← 市独自) ←

生活保護世帯を除く、ひとり親で児童扶養手当の受給者に、児童一人につき2万円の給付。 ←

※ひとり親世帯への臨時特別給付金 (5,487万円 ← 国から補助) ←

児童扶養手当の受給者、収入の急変で児童扶養手当受給者相当の水準となった方等に、1世帯5万円より、R2年8月に給付予定です。 ←

※路線バス運行維持支援給付金 (120万円 ← 市独自) ←



『けんちゃんバス』を運行している丸建自動車については、市との協定締結(R2.4.1)により、既に今年度分1200万円の負担が決まっていた。緊急事態宣言期間中に、丸建自動車から2度の助成支援の要望を受け、市は更に上記の支援を決めましたが、その手続き中の5月20日、倒産が明らかになりました。運行は当面継続される予定です。市民の足となる路線バスが維持されるよう注視していきます。 ←

※帰国者・接触者外来支援金 (900万円 ← 市独自) ←

PCR検査に携わる医療機関に、負担軽減を目的に一件当たり1万円を支援します。 ←

※集団検診等安心確保事業 (586万円 ← 国から補助50万円と市の一般財源) ←

安心して乳幼児健診・がん検診などを受けられるように、飛沫防止パーテーションや呼び出しシステム一式、空気清浄機、消毒液、非接触型体温計などを購入していきます。 ←

※保育所・保育園・認定こども園などへ環境改善支援金 (586万円 ← 国から補助)

環境改善の支援として、消毒液、石鹸、体温計、空気清浄機、ソーシャルディスタンス用のテーブル、などの購入に、各施設50万円を上限に支給します。 ←



※学校ICT環境整備事業 (2億5,501万円 ← 国から補助52%と市の財源48%) ←

児童生徒が学習用端末を1人1台利用できるように整備していきます。ICT教育では、インターネットを活用した主体的な学びや、教師から生徒への一方向的な授業ではなく双方 ←

向型の授業が期待できます。家庭での遠隔教育にも活用できることから、令和5年までの予定が前倒しされ、来年度のスタートを目指しています。校内通信ネットワーク(WiFi)の整備費については、既に承認されています。全国的にタブレット端末の需要が増えています。必要台数を確保はできるのか、WiFi環境の無い家庭への対応はどうするのか、課題です。

※読書推進事業 (1,545万円 ← 市独自)

家庭で過ごす時間が増えている市内小中学生に、課題図書1冊と図書カード1,500円分を配布します。



※防災活動支援 (2,234万円 ← 市独自)

災害発生の際、避難所では3密を避けた衛生管理が必要となります。対策として、倉庫を増設し(北中・東中・西中学校)、テント112張り(8×14ヶ所)、ダンボールベット100台(納入業者が保管)、などを新たに購入します。

※水道料金のうち基本料金が減免されます

令和2年7・8月検針分(670円×2か月+消費税=1,474円)が免除されます。

★市は、他にも様々な支援をしています。広報や市のホームページでご確認ください。

児童館での学童保育事業を終了します (令和3年4月1日より)

H26年の事業開始当時は15人ほど在籍していましたが、現在は0人です。評価委員会からも、費用対効果を考え検討するよう注意を受けていました。児童館では、新たに『利用者支援事業』を展開していきます。子育て世代への相談業務を担う専門職員を1名以上置き、子育て支援の強化を図るとのことです。開館時間も9時~18時に変更されます。

〔新たな事業は、まだ中身がおぼろげに感じます。実のあるものを期待し注視していきます。〕

「ひとり親控除」が新設されます (令和3年度課税より)

所得控除において、『寡婦(夫)控除』が見直しされました。男性ひとり親への控除が増額され、未婚で子を扶養する人も控除対象になります。性別や婚姻歴の有無による格差の改善を図るとのことです。

「議会改革特別委員会」が設置されました

議会の組織機能や運営について、調査検討をしていきます。委員は各会派より選出され、合計7名です。金森もその一員となりました。市民の声をより生かせる議会になるよう、努めていきたいと思えます。

フードパントリー「きたもとこども食堂(ヤオコー北本中央店隣)」では、生活に困っている



方々に食料を無料で配布する活動をしています。主に、ひとり親のうち児童扶養手当を受給している方を対象に、企業などから寄付された食料が配られます。5月の開催では、休校で行き場を失った給食食材や地域の方からの野菜などが配布されて、喜びの声が上がっていました。人と人の繋がりが温かいですね。市のホームページで確認できます。

金森すみ子の一般質問 3月議会では取り止めとなり、半年ぶりに、市政運営について伺いました。

【メディア依存について】

問 テレビ、パソコン、ゲーム、スマホ等の電子媒体・機器を含むメディアは、大変便利なものですが、長時間の使用は思考や発信を司る脳機能を低下させます。子どもは勿論大人への影響の認識と対応を伺います。

答 身体・精神・社会的な面の影響があるとの指摘もあり、学校では正しい使用方法について考えさせたり、外部講師によるスマホ教室を開催しています。ICT環境が急速に普及し、児童生徒の安全や健康を守る意味でも、使用に関する家庭への働きかけを、継続的に行えるよう指導をしていきます。WHO（世界保健機構）では「ゲーム障害」を病気の1つとしており、その理解について、市民に向けての啓発や相談先の周知が必要と考えています。

前号でも書きましたが、精神身体への影響も考慮した上で、上手に付き合っていて欲しいと思います。

【「子どもの本のまちづくり」の推進について】

問 本との触れ合いは、メディア依存対策としても有効とされています。今後どのように拡大していくのですか。学校図書館指導員について、教職員の業務負担軽減の為に、司書を採用し学校図書館を充実させる方向性はないのでしょうか。

答 家庭、学校、地域において、環境を整えていくことが重要と考えています。市立図書館では、読み聞かせの意義を保護者に知ってもらう親子向けのおはなし会や、地域への出前おはなし会を実施していきます。学校図書館指導員については、人材の確保が難しく司書資格を求めています。個人的に本に対する知識が深い方や経験が長い方等に日々貢献いただいています。今後も現状を維持しながら学校図書館の充実を図っていきます。

小学生、特に3・4年生は言葉が豊富になり感情が豊かになる時期です。お話し会や読み聞かせの機会を減らさないよう要望しました。



【アクティブシニアの活用について】

問 シニアを対象に、地域活動や就労などで活躍でき、地域社会を支える担い手を育成する、「アクティブシニア事業」の成果はでていますか。地域社会への参加は、最近心配されている、コミュニケーション不足による「テレワーク鬱」の対策にも効果的です。テレワークで地域に留まっている、シニアはもちろん、退職手前の世代にもアプローチして、アクティブシニアへの活用につなげてほしいと思いますが。

答 本事業に参加された方の中には、特に介護予防の分野に関心が高く、地域の活躍の場として「イキイキとまちゃん体操」を教える担い手となった方が多くいることから、本事業の一定の効果があつたものと認識しています。テレワークの方への働きかけについては、それぞれの世代や個人によって活躍したい分野が異なりますので、本事業等への案内だけではなく、他の部署においても、また市内の関係団体が実施する事業との連携を図ることも検討いたしまして、今後、実施に向けて検討していきたいと思っています。

北本の安全性や居心地の良さをアピールするチャンスだと感じています。